

令和4年第4回定例会

一般質問通告書

白井市議会

## 令和4年第4回定例会 一般質問一覧表

質問日	質問番号	氏名	質問事項
11月28日	1番	影山 廣輔 議員	1. 庁内にあるプロジェクトチームについて 2. 桜台小中学校自校式給食のあり方について
	2番	長谷川 則夫 議員	1. 笠井市長の1期4年を振り返って
	3番	植村 博 議員	1. 終活支援について
	4番	広沢 修司 議員	1. 子ども達の健やかな成長と、市民の生きがいを育む今後のまちづくりについて
	5番	斉藤 智子 議員	1. 子どもの貧困対策について 2. 放課後子ども教室について
11月29日	6番	竹内 陽子 議員	1. ニュータウン事業に基づいた道路整備等の基金について 2. 白井駅、西白井駅周辺の活性化について 3. 保健福祉センターの在り方と利用について
	7番	平田 新子 議員	1. 市の上下水道事業の今後は 2. 世情の激変とアフター・コロナを見据えた市政のあり方は
	8番	和田 健一郎 議員	1. 白井市の産業誘致における今後のビジョン
	9番	伊藤 仁 議員	1. 市街化区域内の雨水排水について 2. 原油価格・物価高騰対策支援金について
12月1日	10番	岡田 繁 議員	1. 人を白井に呼び込む農業研修 2. 空き家の再利用について
	11番	徳本 光香 議員	1. 子ども達が自主的にのびのび過ごせる平等で楽しい教育環境について
	12番	田中 和八 議員	1. 教育環境について
	13番	柴田 圭子 議員	1. 自校式給食の今後について 2. インボイス制度導入について 3. 地域公共交通活性化協議会について

質 問 事 項	質 問 要 旨
<p>1. 庁内にあるプロジェクトチームについて</p>	<p>庁内に組織されているプロジェクトチームについて、以下の通りお尋ねします。</p> <p>(1) 各プロジェクトチームのミッションについて。                  (2) 各プロジェクトチームの、ここ1～2年の活動について。                  (3) 各プロジェクトチームの成果、施策に結びついた事例について。                  (4) 各プロジェクトチームにおける今後の課題について。</p>
<p>2. 桜台小中学校自校式給食のあり方について</p>	<p>このことについて、市の戦略や各種施策との間に様々な矛盾が見られます。このことについて、市のお考えを伺います</p> <p>(1) 総合計画の戦略「若い世代定住」「子育てしたくなるまちづくり」との矛盾                  (2) 成績の良い(残菜率の低い)施策を潰し、成績の悪い(残菜率の高い)施策にまとめる矛盾                  (3) 給食センターを防災拠点と謳いながら、桜台地区から「防災拠点」となりうる施設を取り上げる矛盾                  (4) 第二小学校区に通学バスを通すと同時に、桜台小学校区の食育を後退させる矛盾</p>

質 問 事 項	質 問 要 旨
<p>1. 笠井市長の1期4年を振り返って</p>	<p>(1) 子育て教育のまちにから            ①学童保育と放課後子ども教室の充実と再編について            ②ICTを活用した教育環境の充実について</p> <p>(2) 元気で健康なまちにから            ①介護予防事業で健康寿命の延伸について            ②生活者の視点に立った安心して暮せる環境作りの推進について</p> <p>(3) 安心安全なまちにから            ①防災や防犯などの地域課題に取り組むため、まちづくり協議会の設置について            ②コミュニティ活動を活性化し、地域コミュニティの再生について</p> <p>(4) みどり豊かで快適なまちにから            ①消費・生産の地域循環を促進し、白井の農業・商業を守るための事業展開について            ②北総線運賃対策をはじめ、循環バス・民間バス・タクシーなど交通ネットワークの利便性の向上について</p> <p>(5) 健全な行財政運営なまちにから            ①市役所の仕事を見える化して、事業の見直し改善を行い、行政のスリム化について            ②市民参加により次世代を見据えた公共施設等の最適な配置について</p> <p>(6) 次期統一選挙への意向を伺います。</p>

質問事項	質問要旨
<p>1. 終活支援について</p>	<p>高齢者にとって、スマートフォンやインターネット上にあるデータの死後の取り扱い、スマホに残った思い出や大切な写真を、スムーズに家族に引き継ぐためにはどのようにしたらよいのでしょうか。そのためにはデジタル終活、つまり、スマートフォン・パソコン・インターネット上に残されたデータなどをどのように取り扱ってほしいかを整理することです。普通の終活とデジタル終活の違いは、死後の取り扱いを考える対象が、デジタルであるという点です。故人のデータには、その人しか知らないIDやパスワードが設定されています、これを生前に整理しておかなければなりません。その他にも、家族の死後、故人の口座が凍結される可能性があります。亡くなられた後に医療費や介護費用、葬儀費など様々な支払いがでてきます。凍結される前にやっておくべき対策はなんのでしょうか。白井市終活支援ノートは、市民が幸せな老後を生きることができるようにとの願いを込め作成されました。ワード版もあります。また、遺族のための、おくやみガイドブックも作成されています。それらの活用も含め、高齢者の老後、家族の安心のための対策について伺います。</p> <p>(1) 終活支援ノートやおくやみガイドブック作成の経緯について</p> <p>(2) 終活支援ノートのデジタル終活の充実について</p> <p>(3) 故人の口座凍結などの対応について</p>

質 問 事 項	質 問 要 旨
<p>1. 子ども達の健やかな成長と、市民の生きがいを育む今後のまちづくりについて</p>	<p>政府の提唱する「新しい生活様式」は、国民の生活を一変させました。新型コロナウイルス感染症の大流行から3年が経とうとしていますが、昨今では、特に、環境の影響を大きく受けながら成長する子ども達の健やかな成長への影響が懸念されています。そこで、人と人とのつながりや、子育ての環境について、また、人の生きがいという観点から、将来を見据えたまちづくりに必要な基盤として、環境整備との関係についても、改めて考える必要があると考えます。</p> <p>問題意識を共有し、それぞれが連携して総合的かつ計画的に施策を考え実施していくために、取り組むべきと考える項目について、以下、質問致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 音楽を身近に感じられるまちづくりについて</li> <li>(2) 部活動の地域移行について</li> <li>(3) 子どもがマスクを外せる環境づくりについて</li> <li>(4) 子どもの健康とこれからの食育について</li> <li>(5) ワクチン接種記録の保存期間延長について</li> <li>(6) 企業誘致と農業活性の両立について</li> <li>(7) インフラの整備について</li> </ul>

質問事項	質問要旨
<p>1. 子どもの貧困対策について</p>	<p>子どもの将来が、生まれ育った環境に左右されずに健やかに育成されるよう、また教育の機会均等を図るために制定された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に策定が義務付けられた、貧困対策を総合的に推進するための基本方針である「子供の貧困対策に関する大綱」には、「将来だけでなく現在にも焦点を当てる」「子育てや貧困を家庭のみの責任にしない」といった視点が明記されています。</p> <p>それらを受け、幼児教育保育の無償化をはじめ、高等教育の無償化の対象拡大など教育負担の軽減も進んできています。</p> <p>本市では、子どもの貧困対策を「しろい子どもプラン」に位置付け、本年から市としてはじめてとなる「学習支援」が始まりました。経済的な理由で塾に行きたくても行けない家庭の中学生が対象となります。また「子ども食堂」などを運営する市民団体に対し、国のコロナ交付金を活用して支援金を交付する事業も予算化されるなど、市として子どもの貧困対策が進んできています。</p> <p>そこで、本市の子どもの貧困対策の現状と今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 市が捉えている子どもの貧困の現状と支援策について  (2) 学習支援について  (3) 子ども食堂について  (4) 子ども・福祉・教育の担当課や市民団体との連携について</p>

## 2. 放課後子ども教室 について

国が平成30年9月に策定した「新・放課後子ども総合プラン」には、共働き家庭が直面する「小1の壁」を打破するとともに、全ての児童が安心安全な放課後を過ごし、多様な体験・活動ができるよう、一体型を中心とした学童保育と放課後子ども教室の計画的な整備、取組みを推進することが明記されています。

本市の放課後子ども教室は、平成20年から白井第二小学校で、平成26年からは大山口小学校で、さらに令和4年1月からは事業者委託により、池の上小学校で開設されるなど整備がすすめられてきました。白井市第5次総合計画後期実施計画では、放課後子ども教室の開設目標を6校としており、さらに令和5年4月から7年間で計画期間として「白井市放課後子ども総合プラン行動計画」の策定が予定されています。そこで、本市の放課後子ども教室の現状と今後の取組みについて伺います。

- (1) 放課後子ども教室のこれまでの開設の経緯について
- (2) 放課後子ども教室の運営主体の考え方について
- (3) 市がめざす放課後子ども教室の在り方について



質問事項	質問要旨
<p>1. ニュータウン事業に基づいた道路整備等の基金について</p>	<p>URはニュータウン事業から平成26年3月に撤退しました。残る道路整備等の費用としてUR、企業庁から白井市に基金として負担金、補償金が約束されています。そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 基金についてどのような取り交わしをして受け入れたものですか。</p> <p>(2) 現在までの整備の金額と内訳、現在の基金残高はどのようになっていますか。</p> <p>(3) 今後の計画と対応について</p>
<p>2. 白井駅、西白井駅周辺の活性化について</p>	<p>白井市第5次総合計画（2021～2025）に位置付けられている白井駅、西白井駅周辺地域のまちづくりについて、現時点での取り組みと今後についてお伺いします。</p> <p>(1) 市の内部組織である駅周辺地域活性化プロジェクトチームによる検討と外部組織とのトライアル・サウンディングの現状はどのような状況になっていますか。</p> <p>(2) 市長の考える駅前の活性化に向けてのビジョンについて</p>
<p>3. 保健福祉センターの在り方と利用について</p>	<p>保健福祉センターは市の福祉部、健康子ども部、地域包括支援センター、こども発達センター、障害者地域活動支援センター、トレーニングルーム、旧たんぽぽ、そして社会福祉協議会が配置されています。そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 旧たんぽぽが利用していたスペースの現状と今後について</p> <p>(2) 団体活動室の現在の利用料金設定と再考について</p>

質問事項	質問要旨
<p>1. 市の上下水道事業の今後は</p>	<p>白井市の上水利用の特徴は、市の成立ちに起因するものですが、行政面積に対し、県営水道エリアが約24%、市営水道エリアが約27%、井戸水エリアが約49%が混在しているという点です。長年、県水価格と合わせるために、逆ザヤ状態が続いていた市水については、令和2年4月から15%値上げの料金改訂が実施されましたが、まだ逆ザヤ状態の解消には至っておりません。都市マスタープランには「全市給水を図るための水源確保、配水施設整備の計画的な推進」とあり、水利権確保などが課題です。一方、下水道事業は公会計となりましたが、解決していくべき事項も幾つか抱えております。</p> <p>厳しい経営環境を鑑みて、これまでの経営戦略を見直し、令和3年3月、新たに公会計なった下水道事業を含めた「白井市上下水道事業経営戦略」が、令和3年度から12年度までの10年間の期間で策定されました。将来に渡って持続可能な「強靱・安全・持続」を基本方針としている、更には、市民生活に不可欠な上下水道事業の今後について伺います。</p> <p>(1) 「白井市上下水道事業経営戦略」について、まずは経営・財務という点において、今後の経営戦略について伺います。</p> <p>(2) これまでの上水道事業の進捗状況を伺います。</p> <p>(3) 配水管延長工事や配水管洗浄、管路の老朽化に伴う修繕などについてかと思いますが、令和5年度に策定予定の「管路更新計画」について伺います。</p> <p>(4) 下水道においては、近年、頻繁に暴雨に見舞われるようになり、局地化・集中化・激甚化に伴う浸水被害が大変気になります。長期的な展望に立った雨水対応・整備について伺います。</p> <p>(5) 令和4年度「汚水適正処理構想」の見直しを行うことになっておりますが、見直しのポイント・進捗状況について伺います。</p>

2. 世情の激変とアフター・コロナを見据えた市政のあり方は

私たちの生活環境を取り巻く昨今の情勢は、様々の要因が世界規模で複雑に作用しあっているため、エネルギー・資材・食料の確保などにも苦慮する等、環境面や経済面、多方面にマイナスの影響が出ており、これから先、何が起きるか予想困難な状況に陥っています。一方、新型コロナウイルス感染拡大の下で、人類はデジタル化などの知恵を駆使して、新しい生活様式や働き方を編み出し、この苦難を乗り越え、対応力を身に着け、進化してきたと言えます。

もし、コロナが収束した場合でも、生活様式や働き方がコロナ以前と同じに戻るとは、もはや考えられません。毎年、激化する気候変動・脱炭素やSDGs・少子高齢化による人材不足等々、白井市の計画策定や施策遂行もスムーズにいかないことがあるかもしれません。が、「予想困難だから、出たところ勝負です」という訳にはいきません。そこで、将来に備えて、市が今、何を考えておくべきなのか、どのように進んでいくべきなのかについて質問させていただきます。

- (1) コロナ禍における市の業務への影響について伺います。
- (2) 新型コロナ感染症拡大、加えて、気候変動や世情激変などで、先が見えない不安感を白井市民も一様に抱いています。人口減少、少子高齢化、インフラの再整備、そして、持続可能な財政経営などの現実を前に、未来に向かって市の課題と捉えている点を伺います。
- (3) コロナがいつ収束するかは不明ですが、そろそろアフターコロナを考え、また、今後の世情激変に対しても、行政の柔軟な対応力・組織の結束力・迅速な行動力といった意識や構えを持っていることが大切だと思います。様々な要因の社会変化を見据えた今後の市の対応・姿勢について伺います。

質問事項	質問要旨
<p>1. 白井市の産業誘致における今後のビジョン</p>	<p>白井市における少子高齢化の動向は今まで低いレベルでしたが、2040年頃には白井市における高齢化率は国や県よりも高くなることが既に予想はされておりました。しかし年少人口の減少は9月の一般質問における今後の市内の児童生徒数の推移が2年ほど前の予想よりも「更に」減少していくことが判明し、このままでは私たちの街白井市の今後は、「更に」楽観できない状況になります。</p> <p>そこで白井市にとって税金などの面からも企業誘致は「更に」重要になります。隣の印西市でデータセンターをはじめ世界的に注目されており白井市にもその流れとして企業がやってきております。しかし白井市は企業誘致できる種地が少ないというそもそもの前提で問題を抱えております。この為市の保有する公共施設の土地をも活用するといった事も必要と考えます。</p> <p>また、世界レベルでの産業誘致の可能性を考えた場合、今行われている成田空港拡張にあわせた東京を繋ぐ交通アクセス整備としてきた千葉道路をはじめとしたインフラ整備についても国、県と「更に」連携が必要もあります。そこで現行とは異次元レベルの積極的な、市の発展と相乗効果のある産業の企業誘致が必要と考え、過去の一般質問も踏まえお聞きします。</p> <p>(1) 現状における市の企業誘致の実績とその評価について  (2) 産業用地となる種地不足について今後どうしていくか  (3) 白井市における産業誘致、そのために必要となるインフラ整備を含む横断的な県や国との協力強化について</p>

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 市街化区域内の雨水排水について	(1) 現状と今後の予定
2. 原油価格・物価高騰対策支援金について	(1) 現在の申請状況をどの様に分析しているか。

質 問 事 項	質 問 要 旨
<p>1. 人を白井に呼び込む農業研修</p>	<p>白井市の基幹産業である農業は後継ぎ不在で減少に向かっていて耕作放棄の畑は増える一方である。</p> <p>最近東京方面から週末を利用して農業研修に来られている人とお会いする機会があった。実際、彼の研修している畑も見させて頂いたが大変立派な農場であった。市内には農業研修を実施している団体がいくつかある様だ。</p> <p>東京から近く、利用できる畑もある白井市は「農業研修地の白井」として活躍出来るのではないか。</p> <p>(1) 白井の耕作放棄の畑の実態について                  (2) 市内の農業研修の実態について</p>
<p>2. 空き家の再利用について</p>	<p>空き家に関しての再利用は協議会で色々検討されていると思いますが、農業研修が盛んになってきた時には、週末や長期の場合の滞在先が必要になります。空き家の有効活用として農業研修生の宿泊先として再生したらと考えます。</p> <p>(1) 協議会での現状の協議結果は。                  (2) 空き家の購入は難しいとしても、市の管理の下で空き家を再生して研修生に貸せるような空き家再生第1号を試す事は可能か。</p>

質問事項	質問要旨
<p>1. 子ども達が自主的にのびのび過ごせる平等で楽しい教育環境について</p>	<p>私は議員として活動する上で、自由と平等を重要な課題としており、子ども達が楽しくのびのび学校に通い過ごすためにも、ひいては平和な社会にしていくためにも大切だと考えています。私はこの間、教育福祉常任委員として、京都市で創立153年の歴史をもつ正親（せいしん）小学校と、日本一自由といわれる和歌山県の「きのくに子どもの村学園」を視察し、議会運営委員としては、今年の早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキング全国第2位の北海道登別市議会と第4位の芽室町議会を視察してきました。そのほか、来賓としての市内小中学校運動会への出席、1人1台のタブレットの利用の実態を知る市内小中学校でのICT視察などを通じて考えたことを元に市の教育環境について問います。</p> <p>(1) 市内小中学校で校則を見直した例は。  (2) 学校行事として運動会の意義をどう考えていますか。  (3) 平等性と存在意義の観点から、学校行事での来賓招待をやめては。  (4) 白井市の文化や産業を学ぶために行っている独自の教育は。  (5) 文化センターの4施設が子どもの教育について果たしてきた役割は。  (6) 市の学校で行っているジェンダー平等の教育は。  (7) 市の学校で行っているジェンダー平等の教育環境整備は。  (8) 大人だけでなく子ども達が生きやすい環境づくりのためにも早期にパートナーシップ制度を制定しては。  (9) 子ども達自身の意見を市政に反映させる取り組みは。</p>

質問事項	質問要旨
<p>1. 教育環境について</p>	<p>市ではこれまでに学校環境や学習環境の整備として、耐震補強・空調設備の導入（11月市議会臨時会では、特別教室の空調設備の導入も決定しました）                      学校トイレ改修工事、通学路の安全確保、スクールバスの導入、また、児童生徒への一人一台のタブレット貸与を行い、先日、学校でのICTを活用した授業を拝見させていただきました。</p> <p>このように年々、学校環境は変化・充実してきました。しかしながらまだ改善を必要としている問題もあることから以下の点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）校則について</li> <li>（2）不登校問題について</li> <li>（3）外部人材による部活動について</li> <li>（4）部活動の地域移行について</li> <li>（5）教員の働き方改革について</li> </ul>



質問事項	質問要旨
1. 自校式給食の今後について	<p>桜台小中学校の自校式給食については、多方面からの意見や考え方が示されています。</p> <p>教育委員会及び市の検討内容について伺います。</p>
2. インボイス制度導入について	<p>令和5年10月1日からインボイス制度が導入されます。</p> <p>このことによる影響をどう見ているか伺います。</p>
3. 地域公共交通活性化協議会について	<p>10月5日に開催された今年度第一回目の地域公共交通活性化協議会では計画期間の延長と事業内容についての説明があり、それに対し委員から活発な意見が出されました。</p> <p>どのように受け止め、今後どう進めるかを伺います。</p>